

**製品名: JNK1/3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00131**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 46,54 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPK8/MAPK10
別名	c-Jun N-terminal kinase 3; FLJ12099; FLJ33785; JNK1; JNK3; JNK3 alpha protein kinase; JNK3A; MAP kinase 10; MAP kinase p49 3F12; MAPK 10; MAPK10
遺伝子 ID	5599/5602
SwissProt ID	P45983/P53779
免疫原	-

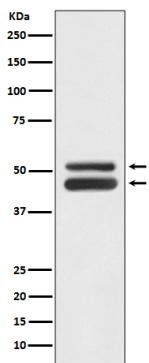
**背景**

ストレス活性化プロテインキナーゼ/Jun アミノ末端キナーゼである SAPK/JNK は、紫外線やガンマ線などの様々な環境ストレス、セラミド、炎症性サイトカイン、そして場合によっては成長因子や GPCR アゴニストによって強力かつ優先的に活性化されます。他の MAPK と同様に、コアシグナル伝達ユニットは MAPKKK (典型的には MEKK1-MEKK4) または混合系統キナーゼ (MLK) のいずれかによって構成され、MLK は MKK4/7 をリン酸化して活性化します。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



JNK1/3 抗体を使用した HeLa 溶解物中の JNK1/JNK3 のウェスタン プロット分析。